

# サーキット・ライダー 2008年 5月号

## 幸福か否か

群集の一人が言った。「先生、わたしにも遺産を分けてくれるよう兄弟に言ってください。」イエスはその人に言われた。「だれがわたしを、あなたがたの裁判官や調停人に任命したのか。」そして、一同に言われた。「どんな食欲にも注意を払い、用心しなさい。有り余るほど物を持っていても、人の命は財産によってどうすることもできないからである。」それからイエスはたとえを話された。「ある金持ちの畑が豊作だった。金持ちは、『どうしよう。作物をしまっておく場所がない。』と思い巡らしたが、やがて言った。『こうしよう。蔵を壊して、もっと多きのを建て、そこに穀物や財産をみなしまい、こう自分に言ってやるのだ。「さあ、これから先何年も生きて行くだけの蓄えができたぞ。ひと休みして、食べたり飲んだりして楽しめ。」と。』しかし神は、『愚かな者よ、今夜、お前の命は取り上げられる。お前が用意した物は、いったいだれのものになるのか』と言われた。自分のために富を積んでも、神の前に豊かにならない者はこのとおりだ。」

ルカ 12：13-21.

今から30年ほど前、心理学者であり教育者のチクセントミハイが「フロー」という人間の体験について書きました。このフローというのは人がどのような状態の時に喜び、充実感ひいては幸せを感じるかということの研究し、多くの若者、成人に聞き取り調査をして出した論文の主題です。彼は「多くの人は、例えば車を買えば幸せになれるとか、ブランド物を身に付ければ皆からちやほやされ嬉しいとか、マイ・ホームを持てれば幸せになれるとかいった具合に、幸福を物の量の多さと勘違いし、それらを手に入れば幸せになれると思ひ込み、欲望を満たそうとして次から次に物を買って増していく。しかし、物を手に入れた後は一時的には満足するが、すぐに更なる欲望がもたげて来て、もっと欲しくなり、それが手に入らないと不安になり、それが不満に変わり、不幸福感に変わる。」と述べています。そしてチクセントミハイは「人の幸せはお金に還元できる物の豊かさや社会的名声、学歴によらない。人が幸せと感ずるのは何か自分が生き甲斐を感じるものを見出し、それに集中して自分を忘れる時。そのような経験をする時である。」と結論付けています。幸せを定義することは難しいのですが、フロー体験とは言わば没我状態です。その状態を回想してみると人はその状態の時に喜びを感じ充実感を味わい、更なる向上心を感じていることが分かります。そこでチクセントミハイはこの「没我或いは無我夢中で頑張っている状態こそが幸せである。」と提議しました。彼自身、「これは新しい発見ではなく以前から分かっていたことだが、科学的調査、統計によってそれを証明したことにより新たに変わった。」と言っています。が、正に彼の言った通りで「何を今更？」と思わないでもありません。このような「喜び」「幸せ」を感じる瞬間はキリスト教では聖霊体験や奉仕、讃美や祈りに集中している時によくありますし、仏教では無我の境地、悟り、解脱の瞬間と言えます。

人が「幸せ」と確信できるのは何かに没頭できる時というのは子供たちが遊びに夢中になっている姿に見る事ができます。皆さんも幼い頃のことを思い出してみてください。友達と公園で鬼ごっこをしたり、おまま事をしたり、ドッジボールや野球をしたり、田舎や郊外の自然に恵まれた環境に育った人は野原を駆け回ったり、トンボやチョウ、セミを追ったり、思い出だけでも幸せな時が流れます。幼い子供が「ああ自分は不幸だ。」とか「こんな世の中、家庭に生まれて自分は悲しい。」と悲嘆したりすることはまず無いでしょう。もしそんな事があつたら、その子はそれこそ不幸です。子供は全てを忘れて遊び、自分がやっていることに夢中になれる。要は幸せとは仕事や日々の生活で生き甲斐、充実感を持つこと。ですから本来、学歴がどうの、高収入がどうのといった、実利主義的な考えで幸せを規定するべきではない。繰り返しますが、幸せとはどのような仕事であれ、ボランティアであれ使命感、生き甲斐を持って没頭できるかどうかでありお金の問題ではない。それに尽きます。昔気質の職人の姿に感動するのは彼らが全て他の事を忘れて仕事に没頭しているから、と私は思います。

上述のルカによる福音書の譬話は私が好きな譬の一つですが、2000年も前にイエスは既に人々の飽くなき欲望が人間の本性であることを見抜き、このような譬で弟子たちや人々に注意しました。私たちはどれほど蓄えても自分の命を延ばすことはできません。どんなに医学や科学が進んでも、人の平均寿命80～85歳を200歳、いや120歳にさえすることはできません。私たちは遅かれ早かれ死にます。物による満たしばかり追い求めていて、神の前に富まない人生は外壁ばかり立派で、中が空っぽの城のようなものです。ここ十数年ニュージャージーのあちこちに建てられている張りぼての家（外観は石やレンガ造りだけど実は合成樹脂による作り物の石、レンガで木造家屋に貼り付けてある）を見ていても、「見栄ばかり張って愚かな！」と思わずにはおれません。

では神の前に豊かになるとはどういうことでしょうか？ これはあくまで私の解釈ですが、信仰を持ち、イエスの教えを守る。互いに愛し合い、泣いている者と共に泣き、喜んでいる者と共に喜ぶ。飢えている人がいれば食べ物を分かち合い、病人を見舞い、子供たちを教え、老人、寡婦をいたわり、寄留の外国人、差別されている人々、マイノリティーにも公平に接し差別しない。これらは当たり前のことです。しかしそれをする為には、聖書に学び、本を読み、動物、花々樹木を大切にし、音楽、芸術を愛し、経験を積み本当の意味で文化人にならねばなりません。仕事に生き甲斐を感じられたら尚結構。生活の為に働くのなら割り切って頑張り、趣味や社会奉仕に生き甲斐を見つける。昨今、落ち葉掃除が面倒だからと庭の木を伐採するアメリカ人が増えました。日本では路上の花を何十本も折ったり、池の白鳥、黒鳥を殺傷したりと、貧しい心、邪悪な心が増えています。本当に豊かな人生、本当の文化人とは何だろうと考えることがあります。日本には「ものの哀れ」という美しい情感がありますが、神を神じ畏れ敬う（箴言）ことはその「ものの哀れ」を感じる心を養う手始めではないかと思ひます。

吉松 純

礼拝は日曜日午後4時です。Jr. 教会（日曜学校）も4時からです。

- 5月 4日：礼拝午後3時から、聖餐式、Jr. 教会：ハンドベル練習
- 11日：ペンテコステ（聖霊降臨）礼拝、Jr. 教会：母のクッキング
- 18日：礼拝、Jr. 教会：メモリアル・ガーデン花壇手入れ
- 25日：礼拝、Jr. 教会：メモリアル・ガーデン花壇手入れ
- 6月 1日：礼拝、聖餐式、Jr. 教会：未定

#### 行事予定と報告

- \* 毎週月曜日、午後7時：ハンドベル聖歌隊（英語）。
- \* 毎週月曜日、午後7時—9時、祈りのため教会を開けています。8時30分から牧師と共に御言葉を分かち合い祈ります。
- \* 毎週火曜日、午前10時：聖書研究会（英語）。パウロの書簡を学びます。
- \* 毎週木曜日、午後7時：聖歌隊（英語）。英語が苦手でも讃美できます。どなたも歓迎。
- \* ユース（中高生会、英語）は第二、第四日曜日の午前9時。

\* 5月10日（土）午後4時より、教会礼拝堂でハンドベル聖歌隊のコンサートがあります。入場無料、自由献金。コンサート後レセプション。どうぞお出かけ下さい。

\* 5月17日（土）午前8時30分。日本から「掃除をする会」のボランティア約20名がパークリッジに来て教会のトイレ、キッチンを掃除します。この団体は人の嫌がるトイレ掃除を素手ですることによって、謙虚になることを学び自分の傲慢を取り去ることを目的に結成されたユニークな団体です。掃除後、11時30分からBBQランチでの交わりをします。どなたも掃除、BBQに参加できます。

\* 5月29日より30日まで合同メソジスト教団年次総会があり、吉松牧師も出席されます。教団の為に、教会の為に祈り下さい。

#### お知らせ

\* 5月4日の聖日礼拝は**午後3時**からです。吉松牧師が同日午後5時から教団のミーティングに出席の為、礼拝時間が早まりました。ご了承下さい。

御協力お願い致します。献金のあて先はUMC-JAとし、寄付のあて先をNoteに記してください。

- \* 合同修養会（ファミリー・キャンプ）とサマーキャンプの為
- \* ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。
- \* 消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（JOC S）に送ります。JOC S海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。
- \* ケニヤの恵まれない子供達やエイズ患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。
- \* パターソンのSt. Philip 伝道と社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

連絡先：英語オフィス(201) 391-5499 日本語オフィス兼ファックス (201) 505-0347

吉松牧師 (201) 391-2208 [junyoshim@optonline.net](mailto:junyoshim@optonline.net) 代表役員：松尾孝恵姉 [Takae17A@aol.com](mailto:Takae17A@aol.com)

教会学校担当：吉松 泉姉 [izumi.yoshimatsu@gmail.com](mailto:izumi.yoshimatsu@gmail.com) ホームページ：<http://umc-japan.org>

英語のホームページは[www.umcpr.org](http://www.umcpr.org) です。サーキットとは違うメッセージも多く書いています。どうぞご覧下さい。